

小学校 第3学年 (前期)	題材名	リコーダーと友だちになろう	時間	9 時間
---------------------	-----	---------------	----	------

■題材の目標

ソプラノリコーダーの音色や基本的な奏法に関心を持ち、5音（ソ・ラ・シ・ド・レ）の運指を学んで基本的な演奏の仕方を身に付ける。児童が楽しみながら段階的に学べる楽曲を多数用意することにより、演奏意欲を高めることを目指す。

■学習指導要領との関連

- A 表現 (2) 器楽 ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。
- イ 次の(ア)及び(イ)について気付くこと。
- (ア) 曲想と音楽の構造との関わり
- (イ) 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり
- ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。
- (ア) 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏する技能
- (イ) 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能
- (ウ) 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能

【共通事項】音色、リズム、速度、旋律、音階／反復

■ヤマハデジタル音楽教材「ソプラノリコーダー授業」を使用した指導計画（9時間）

次数	時数	○学習内容・主な学習活動	教材曲	楽曲の使用音	使用するデジタル教材
第一次	第一時	○リコーダーの音に興味・関心を持ち、リコーダーの基本的な奏法を学ぶ。 ・リコーダーの音色の美しさを味わう。 ・リコーダーの仕組みや種類を学ぶ。 ・「リコーダーの授業の進め方」の約束事を確認する。 ・リコーダーを演奏するときの姿勢や息のつかい方を学ぶ。 ・息のつかい方を意識して「空のむこうに」を演奏する。	「空のむこうに」	シ	【まなぶ】 ・リコーダーの名前 ・リコーダーのなかま ・リコーダーのしくみ ・リコーダーのささえ方 ① ・くちびるのあて方 ・ずわってえんそうする時のしせい ・息のつかい方 【プレイ】 ・「空のむこうに」
	第二時	○タンギングを学ぶ。 ・「シ」の運指を学ぶ。 ・声やリコーダーで「tu」と言いながらタンギングを練習する。 ・タンギングを意識して「楽しい日曜日」を演奏する。	「楽しい日曜日」	シ	【まなぶ】 ・タンギング 【プレイ】 ・「楽しい日曜日」
第二次	第三時	○「ラ」を学ぶ。 ・「ラ」の運指を学び、「ラ」⇄「シ」の指の動きを練習する。 ・タブレット端末を使ってグループごとに「雨上がりのにじ」を練習する。 ・運指やタンギングに気を付けて「雨上がりのにじ」を演奏する。	「雨上がりのにじ」 （「中指のたいそう」）	ラ・シ	【プレイ】 ・「雨上がりのにじ」 （・「中指のたいそう」）

第二次	第四時	○「ソ」を学ぶ。 ・指あそびを実践し、薬指の動きにくさを体験させる。 ・「ソ」の運指を学び、「シラソラシ」の指の動きを練習する。 ・タブレット端末を使ってグループごとに「うちゅうのかなたへ」を練習する。 ・なめらかな指運や息のつかい方に気を付けて「うちゅうのかなたへ」を演奏する。	「うちゅうのかなたへ」 (「ススキのダンス」)	ソ・ラ・シ	【まなぶ】 ・やってみよう！① 指あそび 【プレイ】 ・「うちゅうのかなたへ」 (「ススキのダンス」)
	第五時	○「ド」を学ぶ。 ・「ド」の運指を学び、「シ」⇄「ド」の指の動きを練習する。 ・タブレット端末を使ってグループごとに「ヤシガニ見つけた」を練習する。 ・指づかいに気を付けて「ヤシガニ見つけた」を演奏する。	「ヤシガニ見つけた」 ※沖縄音階の曲	シ・ド	【プレイ】 ・「ヤシガニ見つけた」
	第六時	○「ラ・シ・ド」を練習する。 ・「花びらひらひら」「あらしの予感」の範奏を聴く。 ・タブレット端末を使って各自、演奏したい楽曲を選択し、練習する。 ・選択した楽曲ごとに斉奏をし、演奏を聴き合う。	「花びらひらひら」 ※日本音階の曲 ・ 「あらしの予感」	ラ・シ・ド	【プレイ】 ・「花びらひらひら」 ・「あらしの予感」
	第七時	○「レ」を学ぶ。 ・「レ」の運指を学び、3点支持(下くちびる、左手中指、右手親指の3点でリコーダーを支えること)を習得する。 ・タブレット端末を使ってグループごとに「タヤケの海」を練習する。 ・3点支持に気を付けて「タヤケの海」を演奏する。	「タヤケの海」 (「とことこマーチ」)	シ・ド・レ	【プレイ】 ・「タヤケの海」 (「とことこマーチ」)
第三次	第八時	○「ソ・ラ・シ・ド・レ」を練習する。 ・「ソ・ラ・シ・ド・レ」の各音について運指表を見ながら復習する。 ・「あかね雲」「森のぶとう会」の範奏を聴き、発表曲をグループごとに決めさせる。 ・グループごとに「どうやって演奏したいか」話し合う。 ・タブレット端末を使ってグループごとに選択した楽曲を練習する。	「あかね雲」 ・ 「森のぶとう会」	ソ・ラ・シ・ド・レ	【まなぶ】 ・リコーダーのささえ方② 【プレイ】 ・「あかね雲」 ・「森のぶとう会」
	第九時	○「ソ・ラ・シ・ド・レ」の楽曲を発表する。 ・タブレット端末を使ってグループごとに仕上げる練習をする。 ・グループごとに成果発表をする。 ・選択した楽曲ごとに斉奏する。			【まなぶ】 ・やってみよう！① 指あそび 【プレイ】 ・「あかね雲」 ・「森のぶとう会」

【授業の展開例】 第一時

教材名	「空のむこうに」(作曲：関島岳郎)
-----	-------------------

- ・教材観：「シ」のみで演奏できるロングトーンの楽曲。子どもたちが満足感を味わいやすく、導入の授業に最適な教材である。
- ・本時のめあて：リコーダーとなかよしになろう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 15分	■単元のめあてを確認する。 ■本時の学習のめあてを確認する。 ■リコーダーの音色を鑑賞し、音色の美しさを味わう。 ■リコーダーの仕組み、種類を学習する。 (いろいろな種類のリコーダーの音色に触れるとよい) ■「リコーダーの授業を進める時の合図や約束事」を確認する。	・まなぶ - リコーダーの名前 ・まなぶ - リコーダーのしくみ ・まなぶ - リコーダーのなかま ※↑コンテンツのまとめ 画像に音色比較機能付き	★教師用 PC (又はタブレット端末) を大型モニターとつないで提示。 ★Shidousha_data.pdf の P. 16 授業ポイントの 1 を参照。
45分 展開 20分	■デジタル教材で演奏する時の姿勢や息のつかい方を学ぶ。 ・リコーダーの支え方 ・くちびるのあて方 ・演奏するときの姿勢 ・息のつかい方 ※デジタル教材の視聴後はまとめ画像を使ってポイントをおさらいし、グループやペアになって実践させるとよい。 ※時間配分の目安は1コンテンツにつき5分程度を想定。 (視聴～実践まで)	・まなぶ - リコーダーのささえ方 ① ・まなぶ - くちびるのあて方 ・まなぶ - すわってえんそうする時のしせい ・まなぶ - 息のつかい方 ※↑コンテンツのまとめ 画像に音色比較機能付き	
まとめ 10分	■リコーダーで「シ」の音を演奏する。 (運指については、簡単な説明程度にとどめる) ■「空のむこうに」の範奏をデジタル教材で視聴する。 ■全員で「空のむこうに」を演奏する。 (息のつかい方や姿勢を意識させ、デジタル教材に合わせてリコーダーの演奏を楽しむ)	・プレイ - 「空のむこうに」 ⇒お手本 又は、楽譜の画面	

[授業の展開例] 第二時

教材名	「楽しい日曜日」(作曲: 栗原正己)
-----	--------------------

- ・教材観: 「シ」のみで演奏できるリズムカルな楽曲。無理なくタンギングが習得できる教材である。
- ・本時のめあて: タンギング「tu(トゥ)」でくっきりえんそうしよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
45分	導入 10分 ■前時の復習として、デジタル教材を使って「シ」の音の運指を改めて説明する。 ■「空のむこうに」を全員で演奏する。 ■本時の学習のめあてを確認する。	・プレイ - 「空のむこうに」 ⇒解説の画面 ・プレイ - 「空のむこうに」 ⇒楽譜の画面	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
	展開 20分 ■デジタル教材でタンギングを学ぶ。 ■デジタル教材の視聴後はまとめ画像を使ってポイントをおさらいし、教材の中で示されていた練習方法を実践する。 ①声に出して⇒tuー、tuー、tuー ②ないしょ話(無声音)で⇒tuー、tuー、tuー ③早口ことばで⇒tu、tu、tu、tu、tuー ④リコーダーで⇒tuー、tuー、tuー tu、tu、tu、tu、tuー	・まなぶ - タンギング ⇒まとめを提示 ※↑コンテンツのまとめ 画像に音色比較機能付き	★ペアやグループで実践したり、列ごとに伝言ゲーム形式で取り組んでもよい。
	まとめ 15分 ■「楽しい日曜日」の範奏をデジタル教材で視聴する。 ■タンギングを意識させるため、「楽しい日曜日」を「tu」で歌わせる。 ■タンギングを意識しながら「楽しい日曜日」をリコーダーで演奏する。 ■学習したポイント(タンギング・息のつかい方)が生かされて演奏できているか、各グループで演奏を聴き合う。 ■全員で「楽しい日曜日」を演奏する。	・プレイ - 「楽しい日曜日」 ⇒お手本 又は、楽譜の画面 ・プレイ - 「楽しい日曜日」 ⇒お手本 又は、楽譜の画面	★最初は 80%くらいのテンポで演奏し、徐々にテンポを上げていくとよい。

【授業の展開例】 第三時

教材名	「雨上がりのにじ」（作曲：栗原正己）
-----	--------------------

- ・教材観：「ラ」「シ」の2音で演奏できる楽曲。2音ながら美しい旋律の曲で、タンギングとスムーズな指づかいを意識させるのに適している。
- ・本時のめあて：タンギングに気をつけて「ラ」を練習しよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 10分	■タンギングの復習をする。 ■前時の復習として、「楽しい日曜日」を全員で演奏する。 ■本時のめあてを確認する。	・まなぶ - タンギング ・プレイ - 「楽しい日曜日」 ⇒楽譜の画面	★教師用PC（又はタブレット端末）を大型モニターとつないで提示。
45分 展開 25分	■デジタル教材で「ラ」の運指を学ぶ。 ■デジタル教材の視聴後はまとめ画像を使ってポイントをおさらいし、タンギングを意識しながらリコーダーで「ラ」⇔「シ」の練習をする。 ■「雨上がりのにじ」の範奏をデジタル教材で視聴する。 ■グループ（3～4人）に分かれて、各自タブレット端末のデジタル教材を使って練習する。 ※初回はデジタル教材の使い方を説明する。習熟度に合わせて練習できるよう、特に「テンポ変更」機能の使い方を紹介するとよい。（＋が速くなる、－が遅くなる）	・プレイ - 「雨上がりのにじ」 ⇒解説の画面 ・プレイ - 「雨上がりのにじ」 ⇒解説の画面のまとめを提示 ・プレイ - 「雨上がりのにじ」 ⇒お手本の画面 ・プレイ - 「雨上がりのにじ」 ※指づかいや楽譜の画面は、今回のグループ学習では使用しない。	★タブレット使用時の約束は、Shidousha_data.pdfのP.16 授業ポイント①を参照。 ★グループ内で練習方法を考えたり、聴き合いや教え合いの活動が自発的に生まれるよう促す。
まとめ 10分	■各グループからタブレット端末を回収する。 ■全員で「雨上がりのにじ」を演奏する。	・プレイ - 「雨上がりのにじ」 ⇒お手本 又は、楽譜の画面	

【授業の展開例】 第四時

教材名	「うちゅうのかなたへ」（作曲：永田平八） / 「ススキのダンス」（作曲：関島岳郎）
-----	---

- ・教材観：「ソ」「ラ」「シ」の3音で演奏できる楽曲。ゆったりとしたテンポの「うちゅうのかなたへ」は、壮大な伴奏が演奏意欲を掻き立てる。一方、「ススキのダンス」はテンポが速くリズムカルな楽曲で、技能の習熟の速い子どもに取り組ませたい。
- ・本時のめあて：指をなめらかに動かして「ソ」を練習しよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 10分	■前時の復習として、「雨上がりのにじ」を全員で演奏する。 ■演奏をふまえ、児童の状況に合った復習をする。 ■本時の学習のめあてを確認する。 ■「指あそび」を実践して薬指が動かしづらい指であることを体験させる。	・プレイ - 「雨上がりのにじ」 ⇒楽譜の画面 ・「まなぶ」のコンテンツを適宜活用 ・まなぶ - 【やってみよう！①】 指あそび	★教師用PC（又はタブレット端末）を大型モニターとつないで提示。 ★薬指の動きづらさに絡めて、「ソ」の運指では薬指を使用することを伝える。
45分 展開 25分	■デジタル教材で「ソ」の運指を学ぶ。 ■デジタル教材の視聴後はまとめ画像を使ってポイントをおさらいし、薬指を意識しながらリコーダーで「シラソラシ」の練習をする。 ■「うちゅうのかなたへ」の範奏をデジタル教材で視聴する。 ■グループに分かれて、各自タブレット端末のデジタル教材を使って練習する。 ※お手本以外の画面について説明し、指づかいの画面では運指表の見方にも触れるとよい。 ※「うちゅうのかなたへ」が演奏できるようになったグループは「ススキのダンス」に挑戦させるとよい。	・プレイ - 「うちゅうのかなたへ」 ⇒解説の画面 ・プレイ - 「うちゅうのかなたへ」 ⇒解説画面のまとめを提示 ・プレイ - 「うちゅうのかなたへ」 ⇒お手本の画面 ・プレイ - 「うちゅうのかなたへ」 ⇒お手本、指づかい、楽譜の画面 ・プレイ - 「ススキのダンス」	★裏あなをしっかりと閉じているか確認するとよい。 ★適宜、設定ボタンから伴奏を「ピアノ」か「多音色」か選ぶとよい。
まとめ 10分	■各グループからタブレット端末を回収する。 ■全員で「うちゅうのかなたへ」を演奏する。（「ススキのダンス」を練習したグループには、追加で演奏してもらう）	・プレイ - 「うちゅうのかなたへ」 ⇒楽譜の画面 ・プレイ - 「ススキのダンス」 ⇒楽譜の画面	

【授業の展開例】 第五時

教材名	「ヤシガニ見つけた」(作曲：関島岳郎)
-----	---------------------

- ・教材観：「シ」「ド」の2音で演奏できる沖縄音階の楽曲。ノリがよくリズムや伴奏が特徴的で、子どもたちにとって魅力的な教材である。
- ・本時のめあて：指づかいに気をつけて「ド」の音を練習しよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 10分	■前時の復習として、「うちゅうのかなたへ」を全員で演奏する。 ■演奏をふまえ、児童の状況に合った復習をする。 ■本時の学習のめあてを確認する。	・プレイ - 「うちゅうのかなたへ」 ⇒楽譜の画面 ・「まなぶ」のコンテンツを適宜活用	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
展開 20分	■デジタル教材で「ド」の運指を学ぶ。 ■デジタル教材の視聴後はまとめ画像を使ってポイントをおさらいし、リコーダーで、「シ」⇔「ド」の練習をする。 ■「ヤシガニ見つけた」の範奏をデジタル教材で視聴する。 ■グループに分かれて、各自タブレット端末のデジタル教材を使って練習する。	・プレイ - 「ヤシガニ見つけた」 ⇒解説の画面 ・プレイ - 「ヤシガニ見つけた」 ⇒解説の画面のまとめを提示 ・プレイ - 「ヤシガニ見つけた」 ⇒お手本の画面 ・プレイ - 「ヤシガニ見つけた」	★沖縄の音楽の鑑賞と絡めてもよい。
まとめ 15分	■各グループからタブレット端末を回収する。 ■全員で「ヤシガニ見つけた」を演奏する。 ■「花びらひらひら」「あらしの予感」の範奏をデジタル教材で視聴し、次回の授業の予告をする。	・プレイ - 「ヤシガニ見つけた」 ⇒楽譜の画面 ・プレイ - 「花びらひらひら」 ⇒お手本の画面 ・プレイ - 「あらしの予感」 ⇒お手本の画面	

[授業の展開例] 第六時

教材名	「花びらひらひら」(作曲：関島岳郎) / 「あらしの予感」(作曲：永田平八)
-----	--

- ・教材観：「ラ」「シ」「ド」の3音で演奏できる楽曲。「花びらひらひら」は日本の音階を用いており、その特徴を感じ取りながら演奏できる魅力がある。「あらしの予感」はテンポが速く緊張感のある楽曲で、難易度はやや高いが子どもたちからの人気が高い。
- ・本時のめあて：息のつかい方に気をつけて、2曲練習しよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
45分 導入 15分 展開 20分 まとめ 10分	■前時の復習として、「ヤシガニ見つけた」を全員で演奏する。 ■本時の学習のめあてを確認する。 ■「花びらひらひら」「あらしの予感」のデジタル教材を視聴し、2曲のうち1曲を各自で選択して練習することを指示する。	・プレイ - 「ヤシガニ見つけた」 ⇒楽譜の画面 ・プレイ - 「花びらひらひら」 ⇒解説の画面 ⇒お手本の画面 ・プレイ - 「あらしの予感」 ⇒解説の画面 ⇒お手本の画面	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
	■タブレット端末を曲別・テンポ別に配置し、各自が自分に合ったタブレット端末の前で練習することを説明する。 ■各自、習熟度に合わせてタブレット端末間を移動し、練習する。 ※「あらしの予感」はリズムが難しいため、事前にリズムトレーニングを行うとよい。(例：階名で歌いながらリズムを手拍子でたたく)	・プレイ - 「花びらひらひら」 ・プレイ - 「あらしの予感」	★Shidousha_data.pdfのP.16 授業ポイントの2および3を参照。
	■選択した楽曲ごとに演奏する。	・プレイ - 「花びらひらひら」 ⇒楽譜の画面 ※テンポ 85%程度 ・プレイ - 「あらしの予感」 ⇒楽譜の画面 ※テンポ 75%程度	

【授業の展開例】 第七時

教材名	「タヤケの海」(作曲：永田平八) / 「とことこマーチ」(作曲：関島岳郎)
-----	---------------------------------------

- ・教材観：「シ」「ド」「レ」の3音で演奏できる。「タヤケの海」はピアノ伴奏とリコーダーの旋律が美しいおだやかな楽曲。「とことこマーチ」はノリがよく明るい楽曲だが、難易度が高いため技能の習熟の速い子どもに取り組ませたい。
- ・本時のめあて：グループでいろいろなやり方で、「レ」を練習しよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 10分	■前時の復習として、「花びらひらひら」と「あらしの予感」をそれぞれ演奏する。 ■本時の学習のめあてを確認する。	・プレイ - 「花びらひらひら」 ⇒楽譜の画面 ・プレイ - 「あらしの予感」 ⇒楽譜の画面	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
45分 展開 25分	■デジタル教材で「レ」の運指を学ぶ。 ■デジタル教材の視聴後はまとめ画像を使ってポイントをおさらいし、リコーダーを構えさせて3点支持(下くちびる、左手中指、右手親指の3点でリコーダーを支えること)の練習を行う。 ■「タヤケの海」の範奏をデジタル教材で視聴する。 ■グループに分かれて、各自タブレット端末のデジタル教材を使って練習する。 ※「タヤケの海」が演奏できるようになったグループは「とことこマーチ」に挑戦させるとよい。	・プレイ - 「タヤケの海」 ⇒解説の画面 ・プレイ - 「タヤケの海」 ⇒解説の画面のまとめを提示 ・プレイ - 「タヤケの海」 ⇒お手本の画面 ・プレイ - 「タヤケの海」 ・プレイ - 「とことこマーチ」	★「レ」の運指で左手人差し指であなを閉じていないか確認する。
まとめ 10分	■各グループからタブレット端末を回収する。 ■全員で「タヤケの海」を演奏する。(「とことこマーチ」を練習したグループには、追加で演奏してもらう)	・プレイ - 「タヤケの海」 ⇒楽譜の画面 ・プレイ - 「とことこマーチ」 ⇒楽譜の画面	

【授業の展開例】 第八時

教材名	「あかね雲」(作曲：栗原正己) / 「森のぶとう会」(作曲：永田平八)
-----	-------------------------------------

- ・教材観：「ソ」「ラ」「シ」「ド」「レ」の5音を使うため難易度は高いが、3年生のリコーダー学習前半のしめくりとしては最適な教材である。「あかね雲」は叙情豊かな曲想でゆったりと演奏できる楽曲。一方「森のぶとう会」は、ワルツのリズムとにぎやかな伴奏から曲の雰囲気を感じ取りやすく、子どもたちが楽しみながら演奏できる楽曲。
- ・本時のめあて：グループで曲をえらび、発表会にむけて練習しよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 10分	■3点支持を復習する。 ■前時の復習として、「タやけの海」を全員で演奏する。 ■本時の学習のめあてを確認する。 ■次回授業の活動内容(グループごとに演奏発表)をアナウンスする。	・まなぶ - リコーダーのささえ方② ・プレイ - 「タやけの海」 ⇒楽譜の画面	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
45分 展開 30分	■「ソ・ラ・シ・ド・レ」の音を復習する。(運指表を見ながら、一音ずつ確認するとよい) ■「あかね雲」「森のぶとう会」の解説をデジタル教材で視聴する。2曲のうち1曲を各グループで選択して練習することを指示する。 ■グループごとにタブレット端末のデジタル教材を使いながら、以下の活動を実施するよう説明する。 ・演奏曲を決定する ・演奏する楽曲の曲想を感じ取り、特徴をまとめる ・どうやって演奏したいか、グループでまとめる ・グループ全員が演奏できるようになるために練習方法を工夫する	・プレイ - 「あかね雲」 ⇒解説の画面のまとめを提示 ・プレイ - 「あかね雲」 ⇒解説の画面 ・プレイ - 「森のぶとう会」 ⇒解説の画面 ・プレイ - 「あかね雲」 ・プレイ - 「森のぶとう会」	★付属のワークシートを活用するとよい。
まとめ 5分	■選択した楽曲ごとに演奏する。	・プレイ - 「あかね雲」 ⇒楽譜の画面 ※テンポ 80%程度 ・プレイ - 「森のぶとう会」 ⇒楽譜の画面 ※テンポ 60%程度	

【授業の展開例】 第九時

教材名	「あかね雲」(作曲：栗原正己) / 「森のぶとう会」(作曲：永田平八)
-----	-------------------------------------

・本時のめあて：曲のかんじや様子を味わって発表会をしよう

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 10分	■ウォーミングアップのために、指遊びを実施する。 ■前時の復習として、「あかね雲」と「森のぶとう会」をそれぞれ演奏する。 ■本時の学習のめあてを確認し、本時の授業のながれ(進行)もアナウンスする。	・まなぶ - 【やってみよう！①】 指あそび ・プレイ - 「あかね雲」 ⇒楽譜の画面 ・プレイ - 「森のぶとう会」 ⇒楽譜の画面	★教師用PC(又はタブレット端末)を大型モニターとつないで提示。
45分 展開 30分	■グループごとにタブレット端末のデジタル教材を使いながら、仕上げの練習をする。 ■各グループからタブレット端末を回収する。 ■グループごとに練習した楽曲を発表する。 ・発表するグループは曲想を説明し、演奏する ・他のグループの演奏を聴き、ワークシートに感想を記入する	・プレイ - 「あかね雲」 ・プレイ - 「森のぶとう会」	★発表時には、各グループから指定されたテンポに変更して伴奏を再生させるとよい。
まとめ 5分	■選択した楽曲ごとに演奏する。 (「あかね雲」を選択したグループ、「森のぶとう会」を選択したグループの2つに分かれて演奏する)	・プレイ - 「あかね雲」 ⇒楽譜の画面 ・プレイ - 「森のぶとう会」 ⇒楽譜の画面	



パッと
なっとく
もっと
ワクワク

「Smart Education System by Yamaha」のWebサイトでは授業づくりに役立つ授業モデルや掛図などの素材を無料でダウンロードできます。ブラウザで動作するデジタル教材の無料体験版もご用意しておりますので、お気軽に授業でお試しいただけます。ぜひご活用ください。

無料の
授業モデルやデジタル素材を
もっと活用
してみませんか？

「Smart Education System by Yamaha」のWebサイトはこちら！

yamaha ses

検索

<https://ses.yamaha.com/>

「Smart Education System by Yamaha」のお役立ちコンテンツ

新型コロナウイルス感染
拡大防止に配慮した
音楽の授業って…？

学校の新しい生活様式における
音楽授業や行事のアイデアは
こちらでご紹介しています。



音楽の指導でお悩みごと
はありませんか？

先生方のお悩み解決の
ヒントはこちらでご紹介
しています。

